

カルメル霊性センター（月刊）

1999（平成11）6月号

99. 6
霊性センターニュース
134号



みちしるべ8

「イエスの聖心の聖テレジア・マルガリタ・レディ(1)」

霊性センターカルメル

断想 (138)

ヘンリー・ナーウエンの「旅路の糧」(13)

キリスト教霊性史の中の聖人たち(2)

フォコラーレニュースより

諸々の企画についてのご紹介

新刊本紹介

おねがい

『イエスの聖心の聖テレジア・マルガリタ・レディ』(1)

チプリアノ・ボンタッキョ

(カルメル会司祭)

生れ : 1747年7月15日
カルメル会入会 : 1764年9月1日、17才
帰天 : 1770年3月7日、22才
列福 : 1929年
列聖 : 1934年

今まで3人のカルメル会の聖人(幼きイエスの聖テレジア、三位一体の福者エリザベット、十字架の聖テレジア・ベネディクタ)を紹介致しました。

すべての聖人がそれぞれ異なった特徴を持っているので、出来るだけその特徴を取り上げるように致しました。

成聖は、愛の完成にありますから不偏的なものですが、その「愛の完成」に向ってみな「それぞれ与えられた固有の賜物と務めに応じて、その道を歩んでいく」(教会憲章 40-41 参照)。

十字架の聖ヨハネもこの事を指摘しています。「神は、各々の靈魂をそれぞれ異なった道によってお導きになるので、一つの道の様式が他の道の様式に半分でも共通しているような事は殆ど見出されない位である」(愛のいける炎 3・15)。

全く同じ人は二人いないように、聖人方もみなそれぞれ異なったお顔を持っています。それは彼等を手本として仰いでいる私達が、その中から一番自分に合った聖人を選んでその生き方に倣う事が出来る為です。

さて、これから2~3回に亘ってイエスの聖テレジア・マルガリタ・レディの特徴を追求してみたいと思います。

最初に紹介したい特徴は、彼女の徹底した「隠れた」生き方です。パウロは総てのキリスト者の為はこの生き方を次の様に提唱しています。「あなた方の命はキリストと共に神の内に隠れている」(コリト 3・1)。

一人一人の人間を造り、また生かして下さっておられる神は、多くの人がある存在に気付けれない程、隠れておられます。また全知全能であるその御独り児が、人々を救う為に弱い人間としてお生れになり、ずっと弱い人間の姿の中に隠れながら人々

と共に生活し、人間の救いという最も偉大な業を成し遂げられた時も、ただの人間しかも罪人にしか見られませんでした。また、ご聖体の中で今もパンと葡萄酒の形色のもとに隠れておられます。

聖心の聖テレジア・マルガリタは小さい時から、神のこの姿に強く魅せられて、自分もその生き方を選びたいと思いました。そして次第にイエスとの出会いが深められて行くにつれて、その生き方に徹するようになりました。

「隠れた方の」御手の道具となってその業に参加して行きます。沢山の犠牲や苦業を行なっても、それが人の目につかないように…人に対して惜しみなく奉仕するがそれもその人に気付かれないように…深い祈りの生活をしているが、なるべく皆と同じ生き方をする…何も悪い事をしないのに注意された時は、それを甘んじて受けて謝る…大きな試練や苦しみの中にあっても、それをおもてに洩らさないように…霊的指導を受ける為に、一時、手紙でお父さんに自分の心を打ち明けたりしているが、その手紙を焼き捨てるように頼んでいる…（残念ながらお父さんは娘の望み通りにした）。神から頂いた特別の恵みも廻りの人には気付かれなかったようです。

「たとへどのように小さなものであっても、人に知られようという望みもなく、密に行なった行為は、人々に知られようとして行なう千の業よりも神の聖心を喜ばす」（十字架の聖ヨハネ・霊的勧告 20）。

「隠れた処に居られ、隠れた事を見ておられる天の御父」（マタイ 6・6）。

カルメリットの生活を選んだのも「キリストと共に」隠れた処に居られる天の御父の内に隠れる為だったと思います。



霊性センターカルメル

1. 聖書深読黙想会

- (1)上野毛聖テレジア修道院（黙想）(1999年黙想会年間スケジュールのページを
ごらんください)。
(2)宇治聖テレジア修道院（黙想）（1999年黙想会年間スケジュールのページを
ごらんください)。

(3)名古屋教区聖書深読会

1. 日本カトリック研究センター

〒466-0834 名古屋市昭和区広路町隼人30 TEL. 052-831-5037
FAX. 052-831-5317

2. 宇治カルメル会 聖テレジア修道院（黙想）

〒611-0002 宇治市木幡御蔵山39-12

日時：10月2日（土）夕食～3日（日）昼食

1. 2. いずれも

指導：奥村一郎師（カルメル会士）

連絡：小林 厚 〒465-0058名古屋市名東区貴船3-2115

* 申込・締切り 実施日2週間前 * TEL. 052-701-3685

(4)大分聖テレジア修道院（黙想）

指導：奥村一郎師

日時：10月27日（水）夕食～28日（木）昼食

連絡：富田恵子 〒870-1125 大分市上宗方1803-3 TEL. 0975-41-4012

(5)聖書深読箇所（通信）原則として月の第2日曜日

6/13 年間第11主日 マタ 9:36-10:8

7/11 年間第15主日 マタ 13:1-23

9/12 年間第24主日 マタ 18:21-35

10/10 年間第28主日 マタ 22:1-14

11/14 年間第33主日 マタ 25:14-30

(6)通信聖書深読

朝日カルチャーセンター（東京新宿）が通信講座のなかに『聖書深読』を組み入れてくださることになりました。ご希望の方は下記にご連絡ください。

連絡：戸張由美子 〒163-0201東京都新宿区住友ビル 私書箱22

[註]「聖書深読法の生いたち」（奥村一郎）。オリエンス宗教研究所出版。参加者は持参下い。定価 1000円。下記に直接ご注文下さい。尚、3冊以上注文されれば、20%引きになります。

オリエンス宗教研究所

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5 TEJ.03-3322-7601

FAX.03-3325-5322

(7)カルメル在俗者会黙想会（年間スケジュールのページをごらんください。）

2. 聖書と念祷の集い No.8

星野正道神父（毎月1回）

- ・日 時：6月19日（土）3：30～
 - ・場 所：上野毛教会・信徒会館 26号室
 - ・テキスト：神との親しさ（2）『祈りと対神徳』伊達カルメル会訳，聖母文庫 500円。上野毛教会売店にあります。
 - ・急に変更になることもありますので数回ご出席になってみてその後、継続しようとお思になる方は連絡網に入っただければと思います。連絡網に入っらっしゃらない方は、土曜日の午前9時30分から11時30分の間に修道院の受付に 電話 をして変更がないのをたしかめてからお出かけください。 TEL.03-3704-2171 カルメル会修道院受付 久岡
 - ・その他、夏休み、冬休み、春休み などのお知らせはこの霊性センターニュースに掲載いたします。
 - ・なお、この集いは前半約40分の講話と後半約45分の沈黙の祈りで構成されています。
 - ・また、この集い終了後、5時30分から6時まで、全世界の人々の為に祈る神の民の祈り「教会の祈り」、
 - ・私たち一人一人を母の愛をもって見守る聖母マリアへの祈り、「サルヴェレジーナ」
 - ・主の受肉と十字架を通しての復活を賛える「お告げの祈り」、そして
 - ・希望者には主御自身の御体をいただく聖体拝領が続きます。これらにもご自由にご参加ください。
- そして大都会の中のオアシスをこの修道院で探り当てましょう。

T. T. クラブ

～10代・20代の
青年たちの集い～

カルメル会で10代・20代の青年たちの集い『T. T. クラブ』を行っています。このクラブの特徴は、現代の話題を使って、お互いの話を聞く、自分の意見を話す、また伝わってくるものを感じ取る、自分の感性を表現するというを中心にご置きます。その中で、お互いの神様から頂いた“宝”を発見し、よりよく人々と共に生きていく可能性をさがしていければと願っております。

ぜひ、参加してみてください。わたしどもスタッフは心からお待ちしております。

- 第22回 5月29日(土)「コンパッション」
- 第23回 6月12日(土)「エコノミー」
- 第24回 6月26日(土)「バンクエット・愛餐会」

*時間 いずれもP.M.7:00からP.M.9:00まで

*対象 10代・20代の青年たち

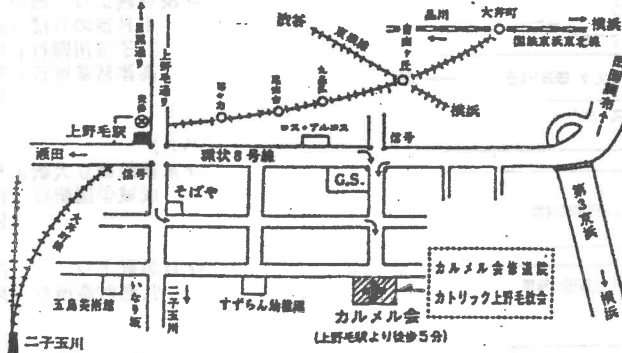
*スタッフ カルメル会士

*場所 カトリック上野毛教会 信徒会館 1F

*プログラム

- 7:00-7:20 はじめの集い
みんなで賛美歌を歌うetc.
- 7:20-8:20 分かち合いの時間
分かち合いによりお互いの宝を発見する時間
- 8:30-8:50 祈りの時間
賛美の祈り・沈黙の祈り・祝福.
- 9:00 解散

〒1580-0093 世田谷区上野毛2-14-25 TEL 03-37-4-2171



修道生活、司祭生活を考える若者の集い

NO. 13

この修道生活、司祭生活を考える若者の集いも皆さんのご協力で小さなあゆみをつづけております。この集いは特定の修道会へのおさそいの集まりではありません。教会生活を送って行く中で今までとはちがう生き方もあるのではないか、とと思っている若者がひとりぼっちでひざをかかえているのはよくない、同じように感じている仲間と出会い、ともに祈りながらあゆんで行けたら何かが見えてくるのではないか、ということで始めました。もし君がそんなひとりだったらぜひ来て見ませんか。

*日時 7月4日(日) 10時から16時まで、昼食は各自お持ちください。

*対象 30才くらいまでの独身男女青年

*スタッフ カルメル会司祭 星野正道

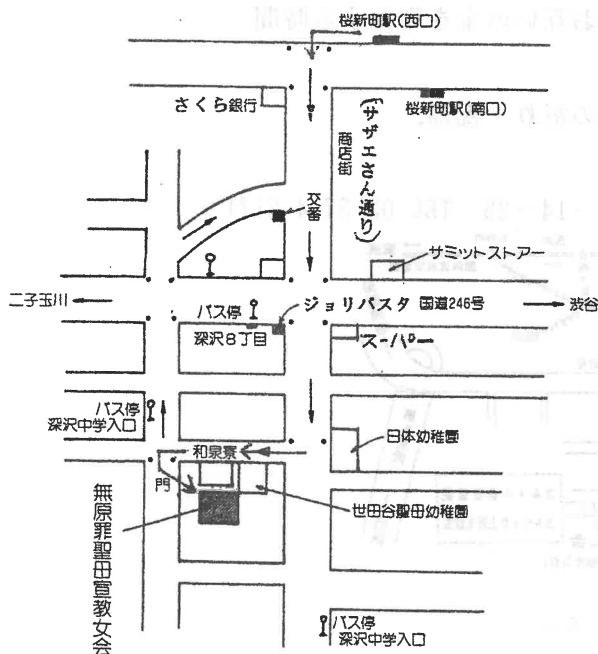
*費用 1000円

*内容 主日ミサ、講話、質問コーナー、個人面談等

*持って来るもの 聖書、ロザリオ、筆記用具、昼食等

*連絡先 158-0093 世田谷区上野毛2の14の25 男子カルメル修道会
星野正道神父 TEL03-3704-2171 申し込みの必要はありません。

*会場 無原罪聖母宣教女会修道院 158-0081 世田谷区深沢8の13の16
東急新玉川線桜新町下車 TEL03-3701-3295



<地下鉄>

□ 渋谷駅より
新玉川線(二子玉川園方面)
桜新町下車 徒歩12分

<バス>

□ 渋谷駅より 南口
18番のりば(新道経由)
二子玉川園行) いずれも
高津営業所行) 深沢8丁目下車
徒歩3分

<バス>

□ 東横線都立大駅より
成城学園行) 深沢中学入口下車
徒歩1分

□ 目黒駅より
弦巻営業所行) 深沢中学入口下車
徒歩1分

無原罪聖母宣教女会
〒158-0081
東京都世田谷区深沢8-13-16
☎ 03-3701-3295

1999年 カルメル会東京・上野毛聖テレジア修道院（黙想）

黙想会年間スケジュール

1. 信徒と奉献生活者のための個人指導黙想会

スタッフ 星野正道師、Br.原 造（以上カルメル会）

Sr.中川享子（ケベックカリタス会）、他

(1) 6月 3日（木）4時から12日（土）朝食

(2) 10月22日（金）4時から31日（日）朝食

全期間参加の方優先ですが二泊からの部分参加もお受けできると思います。

詳しくは申込用紙を御請求ください。

2. 奉献生活者のための黙想会

(1) 8月22日（日）4時から31日（火）朝食 山田裕於師

(2) 12月26日（日）4時から翌年1月4日（火）朝食 渡辺幹夫師

3. 聖書深読黙想会

(1) 1月30日（土）夕食から31日（日）16時30分 奥村一郎師（了）

(2) 5月 8日（土）夕食から 9日（日） " " （了）

(3) 7月 3日（土）夕食から 4日（日） " "

(4) 9月18日（土）夕食から19日（日） " 星野正道師

(5) 12月 4日（土）夕食から 5日（日） " 奥村一郎師

4. ウェンズデイ・リトリート スタッフ：星野正道師 Br.原 造

大聖年に向けての準備 「御父の愛に結ばれていのちの共同体をつくろう」

（音楽瞑想、講話、分かち合い、ミサ、etc.）

(1) 5月12日（水）10時から16時（了）

(2) 6月16日（水） "

(3) 7月14日（水） "

(4) 10月 6日（水） "

(5) 11月10日（水） "

5.ウィークエンド・リトリート スタッフ：カルメル会士

(最初の日の夕食をすませてから集合。どなたでも参加できます。)

- (1) 5月28日(金) 20時から30日(日) 15時 渡辺幹夫師
- (2) 6月25日(金) " 27日(日) " 福田正範師
- (3) 12月17日(金) 夕食から 19日(日) 昼食 チプリアノ師

6.特別企画黙想会

- (1) 5月18日(火) 夕食から20日(木) 昼食(通い可) アロイジオ師(了)

以上、1.から6.までの申込はカルメル会上野毛聖テレジア修道院へ。

皆さんが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。

カルメル会上野毛聖テレジア修道院(黙想)

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25

TEL. 03-5706-7355

FAX. 03-3704-1764

7.青年黙想会(男女)

スタッフ：カルメル会士

- (1) 5月22日(土) 16時から23日(日) 16時(了)

希望者には5月21日(金) 20時から始まるプログラムもあります。

その場合は最初の日の夕食をすませてから集合してください。

- (2) 11月 6日(土) 16時から 7日(日) 16時

希望者には11月5日(金) 20時から始まるプログラムもあります。

その場合は最初の日の夕食をすませてから集合してください。

この青年黙想会のお問い合わせ、申込はハガキかFAXで下記まで。

〒158-0093 世田谷区上野毛2-14-25カルメル会

青年黙想会担当神学生 FAX. 03-3704-1764

宇治カルメル会 聖テレジア修道院(黙想)
1999年 黙想会案内

聖書深読黙想会(一般対象)

5月29日(土)夕食 ~ 30日(日)午後 大瀬高司神父担当
7月10日(土)夕食 ~ 11日(日)午後 奥村一郎神父担当
9月18日(土)夕食 ~ 19日(日)午後 中川博道神父担当
11月27日(土)夕食 ~ 28日(日)午後 奥村一郎神父担当

青年のための黙想

男性のため (高校生以上~35歳まで対象)

カルメル会士

6月12日(土) 5:00PM ~ 13日(日) 4:00PM
(テーマ) 『アメイジンググレイス(驚くべき恵み) 私をさがす父なる神』
11月20日(土) 5:00PM ~ 21日(日) 4:00PM

女性のため (高校生以上~35歳まで対象)

カルメル宣教修道女会シスター
中川博道神父

5月22日(土) 5:00PM ~ 23日(日) 4:00PM
(テーマ) 『アメイジンググレイス(驚くべき恵み) 私をさがす父なる神』
11月13日(土) 5:00PM ~ 14日(日) 4:00PM

壮年男性のための黙想 (ホットしよう会)

中川博道神父

6月19日(土) 5:00PM ~ 20日(日) 4:00PM
10月23日(土) 5:00PM ~ 24日(日) 4:00PM

半日の黙想 (一般対象)

中川博道神父

4月22日(木) 10:00AM ~ 4:00PM
7月1日(木) 10:00AM ~ 4:00PM
10月28日(木) 10:00AM ~ 4:00PM

幼いイエスの聖テレズ黙想 (一般対象)

伊従信子氏 (ノートルダム・ド・ウイ)

9月30日(木) 4:00PM ~ 10月1日(金) 3:00PM

3泊4日の黙想 (一般対象)

伊従信子氏 (ノートルダム・ド・ウイ)

(テーマ) 『日常生活での神とのかかわり』
7月23日(金) 5:00PM ~ 26日(月) 昼食

修道女の黙想

7月27日(火) 5:00PM ~ 8月5日朝食 アロイジオ神父
12月6日(月) 5:00PM ~ 12月15日朝食 奥村一郎神父
12月27日(月) 5:00PM ~ 1月5日朝食 中川博道神父



(申し込み問い合わせ)

宇治カルメル会 聖テレジア修道院(黙想)

TEL 0774-32-7016 / Fax 32-7457

〒611-0002 宇治市木幡御蔵山 39-12

東京カルメル在俗者会黙想会

- (2) 8月 5日(木)夕食から 8月 8日(日)午後講話 ”
- (3) 9月22日(水)午後7時から9月26日(日)朝食 渡辺幹夫師
- (4) 10月15日(金)午後7時から10月19日(火)午前講話 星野正道師
(10月17日午前講話、午後集会)
- (5) 11月19日(金)午後7時から11月23日(火)朝食 チプリアノ師
- ◎空きがある場合にはどなたでもご参加になれます。
- ◎お問い合わせ、お申し込みは永瀬まで(045-562-2296)

I

梅雨の晴間に浮雲が悠々と浮んでいた。水色の空が僕を呼んでいた。昔、唐の詩人が「国破れて山河在り」と詠った、その空や雲がそこにあった。僕は今日、そのもとに励まされ、力づけられて帰ってきたのだ。だが友よ、それもいつの日までのことなのか。抱かれるべき山河が崩れてしまったら、僕たちはどう生きていけるのだろうか。ひっそりと、隠れることもできなくて。いよいよ時代は、急坂を転げ落ちていくようだ。

蛭田 幼一

一九九七年七月一日

(筆者は聖書深読・聖書と今時の集い参加者)

1999年 6月

断想 (1 3 8)

奥村 一郎

不死鳥

死ぬことをおもえば
死ぬことは光ってみえる
かるげである
ひかりのなかに命あるものがうごくように
おもわれる

(八木重吉)

死をみつめる心。死がひかってみえてくるまで死をみつめる。そしてそれはいつか、かるげにさえ見え、更にその底に命のたゆたうのが感じられる。詩人の死を見つめる魂は、今、キリストの命によみがえる不死鳥の羽ばたきをそこに凝視する。

そこには死を説明しようとしてせず、死をみつめている深い心の落ちつきが、実在の神秘を手からこぼすことのないように受けとっている美しい日本人の精神的伝統につながる姿がある。しかも、ただ、そこで死をみつめ、死を超える何ものかの力を心のうちに感ずるというだけではなく、死の暗黒が黒ダイヤのように光ってくるまでに死を凝視している。そこには、この世ならぬものの美しさがある。死がかるげに光って見えてくる。不死鳥の題字はこの詩人の心の中で、キリストと読みがながふられていたのであろう。

落葉と共にひるがえる風のようなイエスの行く方を私はそこで見定めたかのように思われた。

*一日静修会

祈りの内に静かに一日を過ごしたい方々のために。

テーマ：典礼の流れの中、どのように神との親しさを深め、どう祈るか？

日時：6月18日(金)5時～19日(土)15時

講師：伊従 信子 詳細、申し込みは清水 和子 tel.fax:044-833-6529まで

ヘンリ・ナーウェンの 旅路の糧⑬

上からの問い

靈的な問いとは、どういうものでしょうか。それは、上からの問いです。人々がイエスにするたいていの問いは、下からのもので、七人の夫を持った女性が復活の時に結婚するのは誰かといったたぐいのもです。イエスはこの種の問いには答えません。それは、律法主義的な心根から出ているからです。下からの問いだからです。

しばしばイエスは、問いを変えることによって答えます。七人の夫を持った婦人の場合には、こう答えます。「復活の時には、男と女は結婚しない。・・・神があなたたちに言われた言葉を読んだことがないのか。『私はアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』とあるではないか。神は死んだ者の神ではなく、生きている者の神なのだ」(マタイ 22 : 23-30)。

私たちが靈的な答えを望むならば、靈的な問いを絶えず探し続けねばなりません。
(426)

死者を思い出すこと

私たちは、親しい友、深く愛していた人を失う時、情緒的に長い期間、何も手につかないような激しい悲しみにおそわれます。私たちが愛する人々は、私たちの一部分となっています。私たちの父親、母親、夫、妻、恋人、子供、友人—彼らは皆、私たちの心の中に生きているのです。彼らが死ぬ時、私たちの一部も死ぬのです。それが、悲しみの何たるかを示しています。すなわちそれは、私たちの親密な一部となっていた人の、ゆっくりとした、苦痛に満ちた旅立ちなのです。クリスマスや新年や誕生日や記念日が訪れるたびに、私たちは愛する仲間の不在を深く感じます。時には私たちの心が彼あるいは彼女に完全に別れを告げ、悲しみの痛手が薄れるまで、丸一年あるいはそれ以上の時が必要となります。けれども私たちが彼らを自由にする時、彼らは私たちの「メンバー (キリストの肢体)」の一人となり、彼らを「思い出す (リ・メンバー)」時、彼らは私たちの靈的旅路の案内者となるのです。

(826)

ーキリスト教靈性史の中における聖人たち（2）ー

『ベネディクトゥス』

カルメル会助祭 松田 浩一

歴史の中の位置づけ

ベネディクトゥスが生きていた時代は、6世紀の前半とされている。彼の生涯が教会に知れ渡ったのは、教皇グレゴリウス一世の著作、『対話』¹によるものであった。そして、ベネディクトゥスが建てたモンテ・カッシーノの修道院は、529年に建てられたのであるが、今日でも有名なベネディクト修道院である。このベネディクト修道院が、西欧の基礎を築くようになる。

さて、ベネディクトゥスが生きていた時代はどうであったのか。まず、4世紀から始まったゲルマン民族の大移動により、ローマ帝国が減んでいく時期でもあった。476年、西ローマ帝国が崩壊して、ローマの町を守りぬいたのは、教皇たちであった。押し寄せてくるゲルマン民族に対して、折衝する教皇の業績は大きい。折衝しながら、ゲルマン民族に対して宣教を行っていったからである。この時期、ガリア（現在のフランス）でも、ゲルマン民族の一つ、フランク族がカトリックに改宗していった。しかし、キリスト教の一派であるアレイオス派がこのゲルマン民族に複雑に絡み合っていたので、キリスト教教会は苦慮を強いられることになる。この時、教会の楯になった教皇グレゴリウス一世が登場する。この教皇に修道生活について大きな影響を与えたのが、ベネディクトゥスの修道制であった。

ベネディクトゥスの修道制が出る前にも、西欧では修道生活があった。4世紀終わりごろには、アフリカのアウグスチヌスによる修道生活がある。中心は共同生活であり、その中で、福音的勧告を生きることを目的とした。また、聖職者、信徒、女子とそれぞれ分けて共同生活をしていた。また、ガリアでは、4世紀後半に活躍したトゥールのマルチヌスの流れを汲むレランスの修道制がある。レランスの修道制は、エジプトの修道制を、特にパコミウスの修道制を取り入れている。しかし、レランスの独自のものとしては、学問を推奨した修道制であった。また、北のヒベルニア（現在のアイルランド）にも、修道制があった。この修道制がもたらしたのは、贖罪と巡礼であり、個人的な信心を広めた。

このような修道制がある中で、イタリアに出てきた修道制がベネディクトゥスの修道制である。

教皇グレゴリウス一世は、当時イタリアに侵入してきたゲルマン民族との折衝、そして洪水、疫病、飢餓という苦難の中で、教会の舵取りをしていた。その中で、ベネディクトゥスを通して働かれる神が、決してこの時代を見捨てることがないことを示し、それによって絶望する人々を励まし、やがてくる終わりの時への希望を与えようとした。すなわち、修道者ベネディクトゥスは、当時の教会にとって神の光であった。その聖人が作った戒律に基づく修道者たちが、教会の光となっていく。教皇グレゴリウスはこの修道者たちを使って、宣教活動を行う。イングランドの宣教にこの修道士たちを送って、修道院を設立している。その後、この修道士たちは、ドイツ、ガリアと修道院を設立して西ヨーロッパに広げていったのである。修道院を現地に設立して、キリスト教文化のセンターをつくり、そこを中心に地域の宣教活動をするこの修道者たちは、ゲルマン民族に受け入れられていった。また、この修道士たちは教皇と密接につながっていたので、西欧の教皇制の確立にもつながっていったのである。その他にも、この修道士たちはキリスト教文化を生き生きと受け継いでいった。中世の皇帝たちは、この修道者たちに助けられていくことになる。また、中世の教皇たちも、この修道者たちに助けられたり、この修道者から、教皇になるものもいた。中世のグレゴリオ改革で有名な教皇グレゴリウス7世も、この修道士たちの系統を汲むクルニニューの修道院の出身である。このようにみると、ベネディクトゥスは現在の西欧におけるキリスト教文化の基礎を与えていったといえよう。そのため、ベネディクトゥスは西欧の父ともいわれるのである。

A.D.900年以降、この修道士たちは幾つかの独立した集団に分割していった。シトー会はその一つである。現在のこの修道士たちの会は典礼運動を盛んにしているし、古代文化を後世に伝えている。また地域社会の要求にも応ずる活動をしている。

ベネディクトゥスの『戒律』²

ベネディクトゥスの『戒律』を支える霊性は、神を求めること、神を求める生活を行うことにある。そして、その神を求める生活は、一人の修道院長のもとで、共同生活を送る修道士たちの共住生活である。『戒律』のプロローグに、修道院とは皆が一緒に永遠の生命に至るように、その道の歩み方を教える「主のための奉仕の学校」と定義している。すなわち、戒律とは、修道院の中で主

のための奉仕に日夜専念するための道標ということができよう。

このベネディクトゥスの靈性は、『戒律』の最初に書いてある、従順、沈黙、謙遜（RB Prol - 7）と、誓願の内容をもつ、従順、定住、品性の改遷（RB 58）の二つのものがある。しかし、この二つは切り離すことができない。そのために、二つあわせて5つに分類することができる。従順、沈黙、謙遜、定住、品性の改遷である。従順の意味は、われわれの贖いと主キリストの受難と復活の同化として捉えている。沈黙とは、共同生活の中に、神との親しい一時を持たせ、確固とした修道生活の土台を築くためにおいている。謙遜とは、神の愛のうちにすべてを行う人になるためにおかれている。定住とは、自分の住む修道院に対して誓願を立てるためである。ベネディクトゥスの時代、浮浪修道者は、修道生活の逸脱の危険があった。そのためにもこの定住の誓願がある。品性の改遷とは、修道生活が絶えず福音的生活への回心の生活を志すものである。「修道服が修道者をつくらない」という格言があるが、生活も地上の一つの状態に留まらず、絶えず天上の生活に向けて改めることを決意するものである。

また、共同生活における愛徳の実践を、良き熱誠をもって行うように勧めている（RB 72）。

また、修道院の第一の責任者、修道院長の規定も重要なものとして書かれている（RB 2, 27, 56, 64）。修道院長は共同体の中でキリストの代理者であり、終生その職につく。

修道士の一日の勤めは、聖務日課、聖なる読書、労働から成り立っている。労働からみても、労働は、特定のものに限らず、共同体に必要なもの、共同体の周辺地域に必要なもの、教会に必要なものに労働を当てている。この労働の意義は、怠惰な生活をしないためである。聖なる読書は、個人的にも共同体的にも定められている。これは、絶えず教会の正統的信仰を学び、目標を誤りなく、修道生活の完成へと導くためである。聖務日課は、修道生活の源泉である。そのために、「何事も聖務日課に優先させてはならない」（RB 43）と書かれている。

その他、修道士の生活に必要な、睡眠、衣服、飲食物についても規定している。また、病人、老人、幼児、児童、訪問客の対応など、共同体に関わる人間活動にわたっても規定している。

このような修道者の生活規定は、精神的活動と肉体的活動、そして、異なる個々人の集まりである共同体の調和のために定められているし、外部の人々に対しても善い影響を与えるようにも定められている。このために修道院長に課

せられた責任と、出納係の責任は大きい。彼らは修道士たちが不満を抱くことにより、救霊の道からそれることのないように、修道士一人一人に対する配慮を怠ってはならないからである。また、「祈れそして働け」という精神が息づいている『戒律』の「怠惰な不従順のために遠ざかってしまった方の許に従順の労役を通して戻りなさい」(RB Prol) という目的があるので、その配慮も怠ってはならないのである。ここに責任者の分別が必要になってくる(RB 64)。

以上のことを、神を求める霊性の基盤としておいているのである。

現代へのアプローチ

現代も、ベネディクトゥスの意志を継いだ修道院が存在しているし、活動をしている。実際、その修道院を訪れることが、現代へのアプローチを知ることになるだろう。ここでは資料を考察した中で、意見を述べることにする。

ベネディクトゥスは、西ヨーロッパのキリスト教にとって、大きな光となった。その光となった理由として、ベネディクトゥス自身、神を求める生活をするとともに、福音的生活を絶えず祈りと労働のうちに探求していった人であったからである。そして、その精神を継ぐ後継者に対して、道標である『戒律』を残したのである。そして、この後継者たちが同じ神を求める精神を持ち、共同生活を営めるように工夫されている。ここには幾つかの示唆がある。

一つは、絶えず神を求める態度である。というのは、ベネディクトゥスの時代も西ローマ帝国が滅び、世間は出口の見えない時代であった。その中で、道標になったベネディクトゥスは、絶えず神を求める人であったからである。

一つは、福音的生活を絶えず祈りと労働のうちに探求し、絶えず生活を改める態度である。この変動する世の中に対して、時代と場所にあった生活に変えていくことは余儀なくされる。その中で、永遠に変わることはない神、この神と共に歩む生活も変わらざるおえない。そのため、絶えず祈ることと労働のうちに、怠らずに神と共に歩む生活に改める必要があると思われる。このことは、第二バチカン公会議、教会憲章 No. 50にも「どのような生活条件のもとにおいても、生活の聖性を追求すべきである」といわれている。

一つは、仲間と共にこの道を歩む大切さである。ベネディクトゥスの『戒律』では、一個所に定住する共同生活を基盤にしている。このような制度は、修道院が地上のキリスト教王国になって、そこを拠点として宣教をするのに好都合であった。西ヨーロッパのキリスト教化もこのような方法でなされていった。また、ベネディクトゥスの『戒律』に示されている会員同士のたえなる福音化

の精神は、王国のキリスト教文化を築くことになった。現代の教会のありようも、キリスト教信者同士のたえなる福音化の精神は、その文化を築くことになるし、福音宣教にもつながるものと思われる。また、多くの人を救いへと導くことになるであろう。

一つは、修道院長の務めと修道者の関係である。修道院長は、キリストの代理者であり、『靈的師父』であり、その職の重要さを『戒律』は述べている。このことは、第二バチカン公会議、教会憲章 No. 37に「信徒と牧者との間の親しい交わりから、教会のために多くの善を期待しなければならない」とあり、それによりそれぞれの「自分の使命をより効果的に果たすことができる」と確信している。

このように、ベネディクトゥスの修道制には神と教会と共に歩むキリスト信者一人一人の心構え、また、キリストの代理者である牧者の態度を教えてくれるものがあると思われる。

<注>

1、『中世思想原典集成5 後期ラテン教父』（上智大学中世研究所 編，平凡社，1993，p441-504）に、ベネディクトゥスに関する第二巻のみ収録されている。

2、『戒律』の邦訳は古田 暁 訳『戒律』（『中世思想原典集成5 後期ラテン教父』，上智大学中世研究所 編，平凡社，1993，p239-328）に記載されている。『戒律』の解釈については、C. ジャン・ネーミー、『聖ベネディクトゥス』（岳野 慶作 訳，中央出版社，1983）、矢内 義顕，「聖ベネディクトゥスの『戒律』とその靈性」（『中世の修道制』，上智大学中世研究所 編，創文社，1991，p97-119）、ルイ・ブイエー、『キリスト教神秘思想史 教父と東方靈性』（上智大学中世研究所 編，平凡社，1996）の中の「ベネディクトゥスとその戒律」、そして Terrence Kardong, OSB, 『The Benedictines』（Minnesota, 1990）を参考にした。

<参考文献>

『中世思想原典集成5 後期ラテン教父』，上智大学中世研究所 編，平凡社，1993

『中世の修道制』, 上智大学中世研究所 編, 創文社, 1991, p97

C. ジャン・ネーミー, 『聖ベネディクトゥス』, 岳野 慶作 訳, 中央出版社, 1983

トマス・ボーケンコッタ, 『新世界・カトリック・教会史』, 石井健吾 訳, エンデルレ, 1992

M.D.ノウルズ他, 『キリスト教史 中世キリスト教の成立』, 上智大学中世研究所 編, 講談社, 1981

ルイ・ブイエー, 『キリスト教神秘思想史 教父と東方靈性』, 上智大学中世研究所 編, 平凡社, 1996

『第二バチカン公会議公文書全集』, 南山大学 監修, 中央出版社, 1992

Terrence Kardong, OSB, 『The Benedictines』, Minnesota, 1990

光は愛あるところに

わたしを愛する人は、わたしの父に愛される。わたしもその人を愛して、
その人にわたし自身を現す。

受難を前にし、最後に語られるイエスの話の中心は「愛」です。御子に対する御父の愛について、イエスは語られ、また、愛するとは神の掟おきてを守ることだ、と教えていただきました。

イエスの話に耳を傾けていた人々は、「愛は知恵の命じる掟を守ることである」（注1）、「知恵は自分を愛する人には進んで自分を現す」（注2）という旧約の「知恵の書」に通じるものを感じたことでしょう。

「知恵の書」には、「主は信じる者にご自身を示される」（注3）とも記されており、これは「わたしを愛する人にわたし自身を現す」というイエスの言葉と共通するものです。

さて今月のみ言葉は、私たちに次のことを伝えています。「御子を愛する人は、御父から愛される。また御子からも愛され、御子はその人にご自身を現される」と。

わたしを愛する人は、わたしの父に愛される。わたしもその人を愛して、
その人にわたし自身を現す。

ただし、イエスにご自身を現してくださるためには、私たちも「愛する」必要があります。

もし心の中に、この愛が生き生きと満ちあふれていないなら、私たちはキリスト者とは言えないでしょう。時計は電池が切れると、止まってしまい、時間を示すことができなくなります。こうなってしまうと、ある意味で、時計とは言えないものになるわけですが、キリスト者の場合も同じです。私たちが、いつも愛そうという心を持っていないなら、キリスト者とは言えないでしょう。

というのも、イエスの掟のすべては、ただ一つのことに集約されているからです。神様を愛し、隣人を愛することです。隣人の中にイエスを見て、イエスを愛することです。

愛は、単なる感情に終わるものではありません。行いとして具体的な形を取り、兄弟への奉仕となって現れるものです。特に私たちの近くにいる兄弟に対して、ほんの小さなこと、目立たない奉仕から始めてみましょう。

シャルル・ド・フーコーは言っています。「だれかを愛する時、私たちは相手の中にいます。愛とともに相手の中に入り、愛をもって相手の中で生きるのです。もはや自分の中で生きるのではなく、自分から『離れ』、自分の『外で』生きようになります」と。

このように愛する時、イエスの光が私たちの中に差し込みます。「わたしを愛する人にわたし自身を現す」（注4）と、イエスは約束されたからです。愛こそ、光の源です。愛することによって私たちは、愛そのものでおられる神様をより深く知ることができます。

そして、それにより私たちの愛は一層大きなものとなり、隣人との関係も深められていきます。

この光、すなわち、愛しながら神様を深く知ることは、私たちの愛が真実であることを示し、証しするものです。私たちはこの光をさまざまな形で経験することができます。光は、私たち一人ひとりの中で、異なる色をもって現れますが、共通する特徴を備えています。たとえば、神のみ旨が分かるよう私たちを照らします。また、私たちに平和と安らぎを与え、いつも新たに神のみ言葉を理解できるよう助けてくれます。

このあたたかな光に力づけられて、私たちはしっかりとした素早い足取りで、人生という道を歩んでいくことができるでしょう。途中で、生活に影が差し込み、どう歩を進めればいいのか分からない時や、暗闇に包まれて立ちすくんでしまう時が来るかもしれません。そのような時も今月のみ言葉は、私たちに思い出させてくれるでしょう。光は、愛によって灯されることを。歩みを照らす小さな光は、小さくても具体的な愛の行い（祈りやほほ笑み、一言など）により、得られることを。

夜、自転車に乗っている時、漕ぐのをやめるとライトが消えて、真っ暗になります。しかし、もう一度ペダルを踏み始めると、電流が流れてライトがつき、道を照らします。

私たちの生活にも、同じことが言えるでしょう。信仰と希望の光を再び心に灯すためには、もう一度愛し始めることです。何の見返りも期待せずに与える愛、真実の愛をもって。

キアラ・ルービック

- 注1 知恵の書6・18参照
注2 知恵の書6・12参照
注3 知恵の書1・2参照
注4 ヨハネ14・21参照

フォコラーレ本部

〒168-0071 東京都杉並区高井戸西1-11-4

TEL. 03-5370-6424

FAX. 03-5370-3055

一日黙想会のご案内

テーマ：父である神

指 導：P. ネメシェギ神父様（イエズス会・在ハンガリー）

日 時：7月4日（日）10時：17時・受付 9時30分～

場 所：コングレガシオン・ド・ノートルダム調布修道院

対 象：男女・年齢を問わず、信徒・求道者の皆様

会 費：2,000円（お弁当代を含む）

申込み：6月27日（日）まで

〒182 0034 東京都調布市下石原3-55-1

コングレカシオン・ド・ノートルダム調布修道院 黙想係

Te l. 0424 82 2012

F a x 0424 82 2163

（当修道院へは、新宿より京王線で調布駅下車。南口から徒歩20分
タクシーで5分、下石原3丁目歩道橋下です。）



諸所の企画についてのご紹介

I ノートルダム・ド・ヴィ (いのちの聖母会)

場 所：〒177-0044 東京都練馬区上石神井4-32-35 Tel(03)3594-2247

キリスト者の生活を深めるための祈りの集い

****いのちの泉へ**** (聖人たちと共に祈る)

1999. 6/26 (土) 「全き信頼の内に」リジューのテレーズと共に

10/23 (土) 「いつくしみの詩」アビラのテレサと共に

11/27 (土) 「愛の炎」十字架の聖ヨハネと共に

12/18 (土) 「御手の中で」幼子イエスと共に

講 師：伊従 信子 (ノートルダム・ド・ヴィ 会員)

プログラム：午後2時～午後5時半。+ミサ (日曜ミサ) 講話、祈り、お茶&質問

申し込み：電話(18:00-21:30) 又は、はがきで。Fax (03) 3594-2254 *参加費:200円

II スズラン・ハウス

女性のアルコール依存症、やせ症、摂食障害の経験者とその家族のためのウェルビーイングを研究開発実践する施設。

詳細を知りたい方は、下記へ：

〒192-0041八王子市中野上町4-27-4 TEL 0426-28-3222 井口 貴志

III 風 の 家

指 導：井上 洋治 師 (東京教区司祭)

〒169-0042 東京都新宿区西早稲田 3-17-23-903 TEL 03-3204-4453

山根 道公 機関誌『^{フネマ}風』編集者

〒169-0042 東京都新宿区西早稲田 3-5-10-101

Tel・FAX 03-3205-6923 詳細はお電話でお尋ね下さい。

IV 生命山カトリック別院

場 所：〒865-0133熊本県玉名郡菊水町蜻浦1391-7 TEL.0968-85-3100

A：黙想会：(a) 8月 1日 (日) ～ 9日 (月) 8泊9日 開始：16時

(b) 8月16日 (月) ～ 24日 (火) “ 終了：朝食後

B：研修会

C：諸宗教対話活動 仏教者との交流

上益城郡教栄寺 (c) 6月27日 (日) 検討中

D：21世紀にむけて第4回 宗教者平和の祈りの集会

日時：10月3日 (日) 午後 場所：生命山カトリック別院

E：祈りの集い：テーマ -三位一体のイコンの観想-

6月10日 (木) 9月9日 (木) 11月11日 (木)

7月8日 (木) 10月14日 (木) 12月9日 (木)

このほか、個人、グループでも静修、黙想会などができます。

お申込みは生命山別院へ

V 瞑想の家 東 光 庵

指 導：ヨハネ・ウマンズ師 (神言会)

場 所：〒166-0004 東京都杉並区阿佐ヶ谷1-38-13 TEL 03-3336-0735

詳細問い合わせは電話で。

VI リーゼンフーバー神父による研究会 (1999~2000年)

- ①キリスト教入門講座 日時：金曜日 18:45 ~ 20:30
 場所：聖イグナチオ教会信徒会館3階アルペホール
 対象：キリスト教を学び、信仰を自分自身の問題として考

各会のテーマ いたい方どなたでも。予備知識は必要ありません。

- 6/4 祈りによる神理解—神の偉大さと近さ
 6/11 救い主の役割—人類の待望
 6/18 神の国—イエスの告げるメッセージ
 6/25 イエスの生き方—神に遣わされて人に仕える

- ②神学読書会 日時：毎月第2・第4(第5)水曜日 18:30~20:30
 場所：SJハウス第5会議室 要申込み、定期的参加
 対象：キリスト教の基本的知識を持っている20代~30代の方。

- ③聖書研究会* 日時：毎月第1・第3水曜日 18:30 ~ 20:00
 場所：S.J.ハウス第5会議室
 内容：日曜日の聖書箇所を読んで一緒に考える。どなたでも。

- * 日時：木曜日 12:40 ~ 13:25
 場所：上智大学7号館 316号研究室
 内容：新約聖書を1章ずつ読んで話し合います。

- ④坐禅会 日時：月曜日 17:20~20:10 木曜日 18:00~20:30
 場所：クルトゥルハイム1階左の部屋 3回坐り、間に講話があり。
 どなたでも。遅刻、不定期参加も可。

- * 6月18日(金) 20:30 ~ 20日(日) 16:00 秋川神冥窟
 関 8月12日(木) " ~ 19日(木) " 1泊2400円程度
 接 10月29日(金) " ~ 11月3日(木) "
 東2000/2月26日(土) 8:30 ~ 27日(日) 16:00 上石神井黙想の家 5600円
 心 関* 8月3日(金) 17:30 ~ 9日(木) 13:00 宝塚市①
 西 連絡先：①シスター朝山 TEL. 0727-59-3742

- ⑤ミサ：水曜日 17:10~18:00 場所：上智大学内クルトゥムハイム1階右小聖堂

- ⑥黙想：水曜日 18:00~18:30 場所：(同上)

(ミサ、黙想、共に(8月を除く))

- ⑦祈りの集い：下記土曜日 13:30~16:00 場所：S.J.ハウス第5会議室
 講話、黙想、ミサがあります。

6月5日、7月3日、8月21日、9月11日、10月16日、11月20日、12月11日、2000年1月8日、2月19日、
 3月4日

- ⑧黙想会：10月9日(日)10時~11日(月)15時、12月4日(土)10時~5日(日)15時、
 2000年3月11日(土)10時~12日(日)15時

- ⑨アガペ会：説明会と集い 下記の日13時30~ 20代~40代の信者
 6月12日(土)、10月3日(日)、2000、1月22日(土)

- ⑩クリスマス会：12月18日(土)16:30~ 上智大学かつらぎ会館地下ホール 要申込み
 ミサ：12月23日(木)14:00~ 上智大学内クルトゥルハイム聖堂

以上、問い合わせ・連絡先：クラウス・リーゼンフーバー神父

〒102-8571東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学 S.J. ハウス

直通電話 03-3238-5124、5111(伝言)、FAX, 03-3238-5056

Ⅶ 三位一体の聖体宣教女会 「祈りの家」

場 所：〒189-0003東村山市久米川町1-17-5 TEL.042-393-3181 FAX 042-393-2407

“聖書で祈る”

指導：雨宮 慧師（東京教区司祭）

対象：女性信徒

日時：6月26日（土）5:30P.M.～6月27日（日）4:00P.M.

10月23日（土）5:30P.M.～10月24日（日）4:00P.M.

2月26日（土）5:30P.M.～10月27日（日）4:00P.M.

召命を考える祈りの集い

指導：星野正道師（カルメル会）

対象：女子青年

日時：7月10日（土）5:30P.M.～11日（日）4:00P.M.

11月28日（日）10:00A.M.～5:00P.M.

2月11日（金）10:00A.M.～5:00P.M.

聖書研究会 — 雅歌を読む —

講師：シスターマグダレナ（三位一会会）

対象：一般 信徒 お弁当持参

日時：11月8日（月）10:00 A.M.～3:00P.M.

以上 申し込みは、各期日 5日前まで

聖書に親しむ集い

講 師：シスターマグダレナ

テーマ：2000年に向けて 御父、御子、聖霊

対 象：一般信徒

日 時：5月～11月までの最終木曜日 2:00P.M.～3:00P.M.（7.8月はお休み）

キリスト教講座 毎週木曜日 10:00A.M.～11:30A.M.

十字架の使徒職 （司祭のために祈る集い）

対 象：信徒、求導者

指 導：本会 会員

期 日：第一グループ 毎月第2金曜日（2:00P.M.～3:30P.M.）

期 日：第二グループ 毎月第1木曜日（2:00P.M.～3:00P.M.）

Ⅷ マリアの御心会（明泉会）

場 所：〒160-0012 東京都新宿区南元町6-2 TLE.03-3351-0297

I. 黙想会 担当：シスター今村和子

① 聖書深読黙想会 — 主日の福音を中心に —

隔月・日曜日 10:00a.m～5:00p.m..

② 黙想と祈りの集い ……テゼの歌をうたいながら

③ 霊操による祈りの集い

指導：長町 裕司師（イエズス会）

毎月第3土曜日 6:00～8:00p.m.

II ① 聖書会 …詩編を読む…

毎月第1月曜日 10:00～12:00a.m.

② 聖書通読講座

木曜日 6:30～8:30pm.

IX 聖心会黙想の家

場 所：〒410-1126静岡県裾野市桃園 198 Tel&Fax. 0559-92-2120

A 祈りの集い（問合せ・申込は聖心黙想の家まで電話/FAXで！）

② 6月4日（金）泊まり～6日（日）午後3時まで

「エウカリスティア」・・Br. ジュリアノ M.O.P.P.

③ 12月10（金）夕食～11日（土）午後5時まで。星野正道師（カルメル会）

● 午後のひととき、静かに過ごしてみませんか？

日時： 毎月 第2土曜日 午後4時～午後5時

場所： 不二聖心のキャンパスにあるどこかの聖堂（四箇所の一つ）

（当日黙想の家の玄関に表示します。）

内容： 沈黙の祈り

（6/12, 7/10, 9/11, 10/9, 11/13, 12/11）

B 黙想会

☆ 8日間または6日間の黙想会

初日の夕食（6時）～最終日の朝食まで。2～3日だけの参加も可能。

③ 7月1日（木）～10日（土） ヘルパー司祭、シスター数名

④ 8月29日（日）～9月7（火）

☆ 婦人の黙想会

② 10月4日（月）午後2時～5日（火）午後3時まで、

☆ 家族連れの黙想会 ベビーシッターも同時募集！

① 6月19日（土）午後6時～20日（日）午後3時まで

② 10月2日（土）午後6時～3日（日）午後3時まで

C 一日黙想会 講師：カルメル会司祭星野正道

場所：聖心会若宮共同体

日時：9/7, 11/9（以上全て火曜日）

上記Bの☆マークの黙想会およびC一日黙想会のお問い合わせ・お申し込みは：

165-0033東京都中野区若宮3-9-4 若宮共同体 TEL. 03-3337-3291

聖心会シスター交野（かたの）

X カトリック内観研究会

代 表：藤原直達（大阪教区司祭）

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 5-10-5 カトリック浅草教会内

TEL&FAX 03-3862-8876

「カトリック内観瞑想」は沈黙と孤独の中で、自分の身近な人に対する「していただいた事（愛されてきた体験）」「お返しした事（感謝を表す）」「迷惑かけた事（我執）」を年代順に調べる事により、自分の姿を自己洞察し、一方、神の無償の愛を体感します。それは心の回心といやしを生じ、自分の中にある日本的靈性の発見ともなります。毎日、8～10回の面会と赦しの秘跡とミサがあります。

* 予約相談は、まずはファックス・手紙でご連絡ください。 * 予約が決まれば、さらに詳しく場所、申し込み、諸注意、など送ります。

* 費用は、宿泊食事代に加えて同行者に若干の喜捨を願っています。 * 持ち物、着替え（楽な着物）洗面道具など。 内観同行司祭 藤原 直達

「カトリック内観瞑想」は沈黙と孤独の中で、自分の身近な人に対する「していただいた事（愛されてきた体験）」「お返しした事（感謝を表す）」「迷惑かけた事（我執）」を年代順に調べる事により、自分の姿を自己洞察し、一方、神の無償の愛を体感します。それは心の回心といやしを生じ、自分の中にある日本的靈性の発見ともなります。 毎日、8～10回の面会と赦しの秘跡とミサがあります。

*予約相談は、まずはファックス・手紙でご連絡ください。 *予約が決まれば、さらに詳しく場所、申し込み、諸注意、など送ります。

*費用は、宿泊食事代に加えて同行者に若干の喜捨を願っています。 *持ち物、着替え（楽な着物）洗面道具など。 内観同行司祭 藤原 直達

予 定 表

K 6/13～20	八日間	茅ヶ崎		T 11/22～28	七日間	横浜・戸塚
L 7/3～10	八日間	茅ヶ崎		U 11/30～12/4	五日間	茅ヶ崎
M 7/18～24	七日間	奈良市		V 12/13～19	七日間	横浜・戸塚
N 7/31～8/7	八日間	茅ヶ崎		W 12/25～30	六日間	茅ヶ崎
O 8/18～25	八日間	千葉・白子		以下は2000年		
P 9/11～18	八日間	茅ヶ崎		A 1/14～20	七日間	茅ヶ崎
Q 9/25～10/2	八日間	茅ヶ崎白子		B 2/1～6	六日間	横浜・戸塚
R10/9～16	八日間	茅ヶ崎		C 2/19～16	七日間	茅ヶ崎
S10/24～30	六日間	茅ヶ崎		D 2/27～3/4	七日間	茅ヶ崎

また、「イエスと日本人 一心の癒しと内観と福音」の公開講座を、朝日カルチャーセンターでも取り上げて下さいました。

日 時：4月5日～6月21日 全5回（5/3・17は休み）

第1・3・5月曜日 10：00～12：00

受講料：会員12,500円 一般14,000円（入会金不要）

受講料には消費税5%分が加算されます。

場 所：新宿住友ビル48階 朝日カルチャーセンター（受付は4階）

朝日新聞の文化活動 朝日カルチャーセンター

〒163-0204新宿区西新宿 2-6-1 TEL:3344-1941 私書箱22号

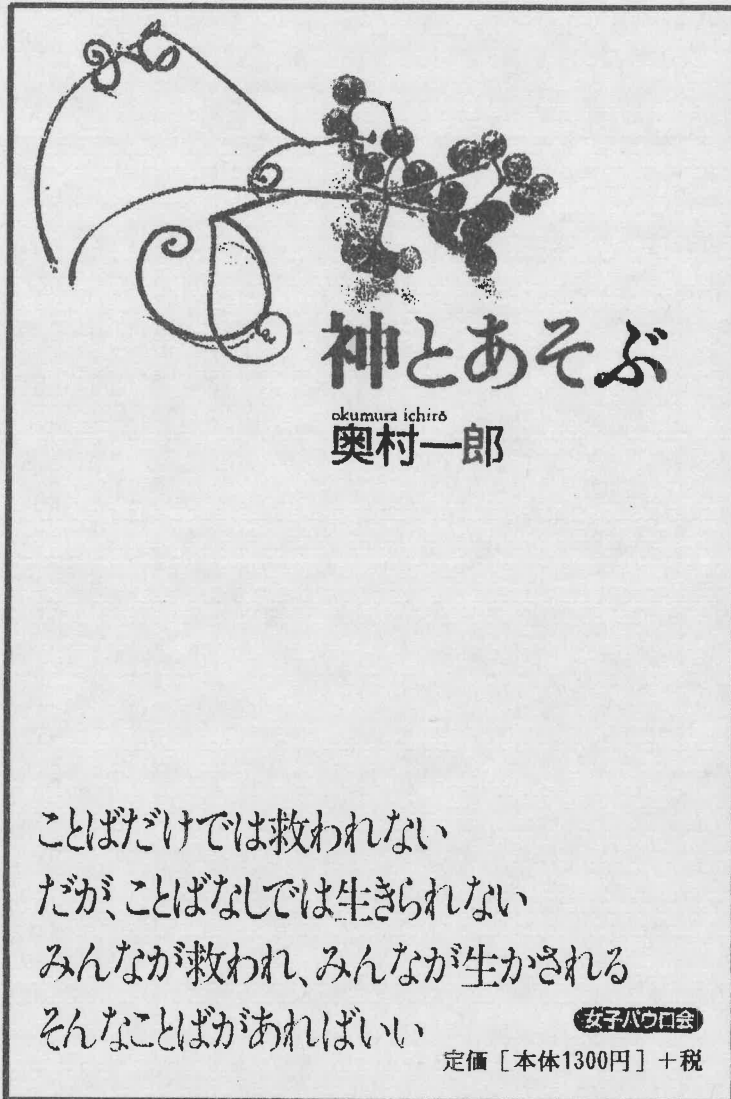
今夏はヨーロッパの大聖女・アビラの聖テレジアの「靈魂の城」と内観法との比較の試みである。「内観」の東西宗教の比較試論となる。こうして魂の深層に光をあてる事により、心の癒し、問題解決、平安な心への旅が続く。（講師・記）

日 時・1999年7月12日・8月9日・9月6日

新 刊 紹 介

* 奥村一郎 著 『神とあそぶ』

日常生活の中での出会い、出来事、気づき、読んだことなどをもとに、複雑な現代社会の中で真の幸福を見いだす道を探ろうとする試み。示唆に富んだやさしいエッセイ。



上野毛、宇治、大分

カルメル会 聖テレジア修道院（黙想）

聖テレジア修道院（黙想）は、カルメルの霊性を体験し深めたい方のためのものです。黙想会、研修会、練成会などに御利用下さい。個人でも団体でも御利用頂けますが、必ず事前に御連絡の上、お申し込み下さい。なお、詳しい御問い合わせは、下記へお願いいたします。

※☎158-0093

東京都世田谷区上野毛2-14-25

☎ : 03-5706-7355

FAX : 03-3704-1764

東急大井町線：「上野毛駅」下車徒歩7分

※☎611-0002

京都府宇治市木幡御蔵山39-12

☎ : 0774-32-7016

FAX : 0774-32-7457

京都駅よりJR奈良線：「六地蔵駅」下車徒歩15分

京阪バス：六地蔵の町並バス停より御蔵山行きに乗り

「西住宅バス停」下車徒歩5分

※☎870-1152

大分市上宗方1800-3

☎・FAX共：0975-41-4012

大分駅～バスで18分、大分川を渡って明礪橋を右折

男子跣足カルメル修道会

お 願 い

投稿くださるときには、だいたい、次のようにしていただけますと幸いです。

1. 締 切 り 毎月10日
2. ①各グループの 目的 或いは 主旨
②月間 或いは 年間予定：研修、黙想など具体的計画
③随想、こぼれ話など。「断想」「陽あたり」とか小題をつけて
④その他 自由ニュースをお送りください。
3. ワープロ。 なお、手書きの場合は早目にお送りください。
4. 原稿が長い場合、編集段階で選択したり、数回に分けて掲載させていただく場合があります。お赦してください。
5. 寄稿連絡は星野正道神父宛てにおねがいします。

-
- ・ニュース（霊性センターニュース）をご希望の方は 中尾豊子宛 に郵送御希望の月数分の220円切手又は現金を送ってください。（これには封筒代等が含まれています。）

中尾 豊子 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 3-15-5

☎045-941-3566

あ と が き

「霊性センターニュース」も奥村神父様の時代以来、常に変わらぬご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。今後もこの小さな種が皆様の暖かなご協力のもとに、すこやかに成長していくようお祈りください。

なお、“一口一円”の呼びかけで始まった献金も、神様の御手の中で大きな助け手、働き手となってきています。ご協力、本当にありがとうございます。

喜びと悲しみ、日々の小さなことがらを通してイエス様が働きかけ、共に生きてくださいますように、お祈りいたします。

カルメル会霊性センター

星 野 正 道